

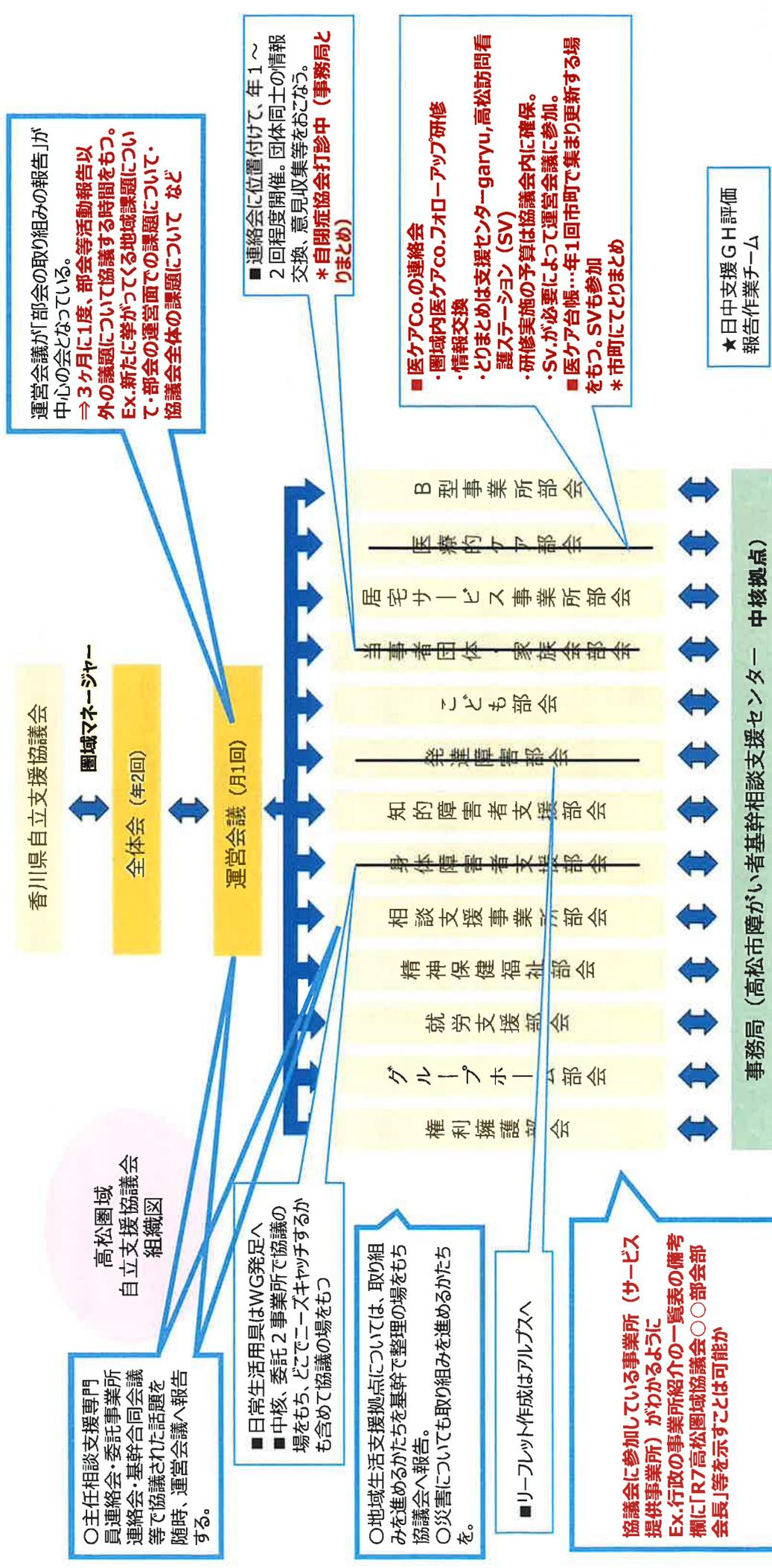
No.	R7年度 目標	上半期の目標	上半期の振り返り	下半期の目標
1	<p>就労支援部会員の情報共有を行ないながら、ネットワークの構築を図りつつ、勉強会にて障がい者雇用の知識を得る。</p> <p>・企業向けの障がい者雇用セミナーなどのイベントを開催し、障がい者雇用のノウハウを学んでいただく場づくり。</p> <p>【会議の頻度】</p> <p>・R7.5月、7月、9月、11月、R7.2月実施予定。</p> <p>【会議の内容】</p> <p>・情報共有</p> <p>・勉強会（テーマに基づいた勉強/例：障害者雇用の実態など）</p>	<p>○精神保健福祉部会（全員参加）</p> <p>年度目標に合わせて部会を開催。</p> <p>①支援者交流企画委員会</p> <p>8月に実台型の自己紹介・名刺交換企画を開催。</p> <p>約50名の参加者。</p> <p>②高齢者分野との連携委員会</p> <p>研修実施に向けて協議を継続。</p> <p>③ピアサポート活動推進委員会</p> <p>ホームページの内容を確認し、お役立ち情報への掲載の方法やピアサポーターからのメッセージなども掲載してはどうか検討。</p> <p>④運営委員会</p> <p>部会の活動内容・方向性について確認。修正などは特になく、後半も進めていく。</p> <p>次年度の部会体制についても検討・確認。</p>	<p>○精神保健福祉部会（全員参加）</p> <p>年度計画通りに実施。</p> <p>①支援者交流企画委員会</p> <p>8月に実台型の自己紹介・名刺交換企画を開催。</p> <p>約50名の参加者。</p> <p>②高齢者分野との連携委員会</p> <p>研修実施に向けて協議を継続。</p> <p>③ピアサポート活動推進委員会</p> <p>ホームページの内容を確認し、お役立ち情報への掲載の方法やピアサポーターからのメッセージなども掲載してはどうか検討。</p> <p>④運営委員会</p> <p>部会の活動内容・方向性について確認。修正などは特になく、後半も進めていく。</p> <p>次年度の部会体制についても検討・確認。</p>	<p>○精神保健福祉部会（全員参加）</p> <p>引き継ぎ、部会の開催。</p> <p>①支援者交流企画委員会</p> <p>各医療機関への出張型の交流企画の案内と実施に向けて準備を進める。</p> <p>②高齢者分野との連携委員会</p> <p>11月の研修会準備と実施。その後の振り返りを予定。</p> <p>③ピアサポート活動推進委員会</p> <p>協議会ホームページ内のピアサポート活動に関する内容の更新。</p> <p>④運営委員会</p> <p>今年度の振り返りと次年度の部会体制等について確認する。</p>
2	<p>○精神保健福祉部会（全員参加）</p> <p>年度目標に合わせて『サビサイが研修』を設けで行う。計画相談支援におけるケアマネジメントプロセスや計画書を素材として相談支援業務全体を振り返り、相談支援専門員の質の向上に取り組む。</p> <p>○GSVを活用して、相談支援専門員自身の自己研鑽と様々な視点で学び合える相談支援専門員同士のつながりの場をもつ。</p> <p>引き継ぎ、園域でのGSVの定着と継承に向けて、ファシリテーション技術を身に付けたファシリテーターとなる人材を育てる。</p> <p>○相談支援専門員の業務の質や量などの現状がどのような状態にあるか状況の把握に努め、部会内研修の企画・運営と地域課題の抽出に取り組む。</p>	<p>○精神保健福祉部会（全員参加）</p> <p>年度目標に合わせて部会を開催。</p> <p>①支援者交流企画委員会</p> <p>8月に実台型の自己紹介・名刺交換企画を開催。</p> <p>約50名の参加者。</p> <p>②高齢者分野との連携委員会</p> <p>研修実施に向けて協議を継続。</p> <p>③ピアサポート活動推進委員会</p> <p>ホームページの内容を確認し、お役立ち情報への掲載の方法やピアサポーターからのメッセージなども掲載してはどうか検討。</p> <p>④運営委員会</p> <p>部会の活動内容・方向性について確認。修正などは特になく、後半も進めていく。</p> <p>次年度の部会体制についても検討・確認。</p>	<p>○精神保健福祉部会（全員参加）</p> <p>年度計画通りに実施。</p> <p>①支援者交流企画委員会</p> <p>8月に実台型の自己紹介・名刺交換企画を開催。</p> <p>約50名の参加者。</p> <p>②高齢者分野との連携委員会</p> <p>研修実施に向けて協議を継続。</p> <p>③ピアサポート活動推進委員会</p> <p>ホームページの内容を確認し、お役立ち情報への掲載の方法やピアサポーターからのメッセージなども掲載してはどうか検討。</p> <p>④運営委員会</p> <p>部会の活動内容・方向性について確認。修正などは特になく、後半も進めていく。</p> <p>次年度の部会体制についても検討・確認。</p>	<p>○精神保健福祉部会（全員参加）</p> <p>引き継ぎ、部会の開催。</p> <p>①支援者交流企画委員会</p> <p>各医療機関への出張型の交流企画の案内と実施に向けて準備を進める。</p> <p>②高齢者分野との連携委員会</p> <p>11月の研修会準備と実施。その後の振り返りを予定。</p> <p>③ピアサポート活動推進委員会</p> <p>協議会ホームページ内のピアサポート活動に関する内容の更新。</p> <p>④運営委員会</p> <p>今年度の振り返りと次年度の部会体制等について確認する。</p>
3	<p>○新しい部会員や事業所が増え、全体的な参加人数も増えたため部会運営を工夫し、安心して参加できる場づくりと相互に交流し繋がりがりやすい機会となる仕組みづくりを行う。</p> <p>○GSVを有効に活用していくけるように、GSVの基本的ルールを全体で共有する。部会員に対するスキルアップの場を検討する。</p> <p>○相談支援業務の業務効率化について、各自の工夫や短時間情報交換の場を設ける。</p> <p>○10月から始まる『就労支援業務』の基本的な趣旨を知り、相談支援専門員の立場でその流れを抑える。その時求めたら利用者のニーズに対応できるように準備する。</p> <p>○相談支援のサービスの質の向上と適正な業務運営について日常の相談支援業務の点検を行う。各部会員のスキルレベルの平準化を図る。</p>			

No.	R7年度 目標	上半期の振り返り	下半期の目標
4	<p>○日常生活用具のアンケート実施方法の検討 高松市の日常生活用具担当者や意見交換、現状と課題の共有。 ○防災についての取り組み 高松市の自治体で避難訓練が盛んな地域の訓練を見学に行き、身体障害者の避難受け入れ体制を確認。</p>	<p>○日常生活用具のアンケート実施方法の検討 高松市の日常生活用具担当者や意見交換、現状と課題の共有。 ○防災についての取り組み 高松市の自治体で避難訓練が盛んな地域の訓練を見学に行き、身体障害者の避難受け入れ体制を確認。</p>	<p>○日常生活用具のアンケート実施方法の検討 4月に高松市の日常生活用具担当者2名に部会に来てもらい、高松市の現状について意見交換。 6月の部会で結果報告し、今年度アンケートどうするか検討。高松市に説得力のあるデータを示すには今年度難しいのでは？ ⇒品目を絞り、スタンダードな物品を基準に福祉用具の業者に価格変動の推移を聞き取り実施することになる。 ○今後の部会の在り方について検討 発展的解消に向けて運営会議で意見を出していた。</p>
5	<p>○部会開催を年6回で予定。 ○主な取り組み ・当事者の部会参加。本年度2回部会に参加してもらい、意見交換を行う。参加者が意見を出しやすい会になるように、内容や頻度を検討していきたい。当事者の意見や思いを活動に反映していきたい。 ・強化学習者SV派遣事業の運営および周知活動 ○上記の取り組みを実施してことで、当事者、家族、支援者の想いを反映した取組みや活動の実践に繋げる。</p>	<p>○部会開催 ・5月、7月、9月に開催する。9月の部会では当事者参加予定。 【当事者参加部会】 ・参加者が意見を出しやすいように、開催するタイムスケジュールや内容を見直す。 ・9月の当事者参加に向けて、講義テーマやフリートークの進行方法を定める。 ・9月の部会に向けて、時間配分や講義テーマを検討していきたい。 ・事業についてメールやチラシで普及啓発を行う。</p>	<p>○部会開催 ・10月(zoom)、11月、1月に部会を開催する。11月の部会は当事者参加予定。 【当事者参加部会】 ・11月7日に開催予定 ・権利条約の講義は「仕事」「困ったときの相談先」など「自立と社会参加」についてを予定 【強化学習者(SV派遣事業)】 ・周知活動を継続する</p>
6	<p>○部会を年3回開催。運営委員会を9回開催予定。 ○主な取り組み ・令和6年度は、青年期支援の関係者やサポーター校からの働き取りや実施した。 ・令和7年度は、発達障害特性に由来する困り感のある生徒への支援として、サポーター校と共同で取り組みの内容や方法について検討し、実行する。 具体的なには、困り感のある生徒および家族と担当する教職員向けに、自分の特性を整理する手がかりとなる情報や、相談など支援が得意な社会資源等の情報を提供するリーフレットの作成し、効果的な周知の方法などについて検討する。</p>	<p>○部会の開催 7/25に開催。 主に高校生に向けたリーフレットのアイデアなどについて協議した。 リーフレットについては、コンパクト、手に取りやすいデザイン、障がいの言葉を表面には出さないことをキーポイントとして作成していく方向となった。 これらの意見を受け、上半期でデザインの大体が決定した。</p>	<p>○部会の開催 最終案が出来た後、部会を開催し意見交換を行う。 年末までに完成し、1月に随分完成したリーフレットをもって、サポーター校に説明訪問する計画である。</p>
7	<p>・本部会の開催 ・見直し推進・放課後等デイサービス事業推進部会の開催(1~2回) ○上半期に「教育との連携〜担当者会・ケーズ会の活用〜」を大きなテーマとして開催する。「保育所訪問」についてもテーマに盛り込む。 下半期については内容・開催時期等も含めて検討していく。 ・直島町の療育についての体制作りへの取り組み ・来年度も継続して検討していく。 ・児童の計画相談をテーマとして相談支援部会と一緒に取り組める場を考えていく</p>		

No.	R7年度 目標	上半期の目標	上半期の振り返り	下半期の目標
8	<p>①医ケア見守りコーディネーターの質の向上：県で実施していたフォローアップ研修がなくなり、圏域での対応となるので、部会が中心となり研修を実施していく。</p> <p>②医ケア担当職での行政担当課での情報共有（年1回）</p>	<p>部会メンバーが、行政中心から現場中心のメンバー編成となつてのスタートとなるので、部会メンバー内での事例検討をしながら、地域の問題を今一度検討していく。</p> <p>①フォローアップ研修の内容検討</p> <p>②台帳連絡会（高松市）の開催</p>	<p>部会メンバーで、訪問看護師からの事例提供の本、事例検討を行った。在宅での生活の中での課題は、ライフステージに応じた課題が出てきており、それに日々関わっている現場の支援者の状況が①フォローアップ研修の開催</p> <p>部会内で共有できた。</p> <p>①フォローアップ研修は、県と一緒にタイアップして実施として決定、講師や日程も確定した。（12/8午後実施）</p> <p>②高松市の台帳連絡会を8月に実施。行政の関係課が集まり、就労訓練を目的に対象児の共有を行った。（個人情報の関係もあり、共有としては個人が特定できないように実施、必要な情報に関しては、課同士でやりとりしってもらうようになっている）今後は、行政主体で毎年1回実施（今後は、医ケア見守りコーディネーターがSVとして参加）</p>	<p>来年度の部会の在り方に関して、しっかりと検討を行う。</p> <p>①フォローアップ研修の開催</p>
9	<p>①イベントの参加者が増えるように様々なテーマや内容を企画していく。</p> <p>②参加者が増やすために障害者の地域生活をテーマにした映画や講演会などを企画する。</p> <p>③いろいろな企画を実施する中で居宅サービス事業所部会の認知度を高め、イベントを通して、色々な事業所が抱えている問題の抽出を行っていく。</p> <p>④抽出された問題については今後の居宅サービス事業所部会でどのような対応を行っていくか検討していく。</p>	<p>居宅サービス現場において高次脳機能障害に対する知識や理解が不足した結果、居宅介護等のサービスが受けられなかったり、ヘルパーが離職したりするケースがあるため、知識を広め理解を深めてもらうことを目的にイベントを実施する。</p>	<p>7月23日(水)9時半～11時半、かがね総合リハビリテーションセンター第1研修室にて第1回目のイベントを開催した。</p> <p>参加者25名(内、居宅介護事業所11名、部会員11名、実習生4名)となった。</p> <p>参加して頂いた事業所は19事業所(居宅7事業所、部会員6事業所)となっている。</p> <p>高松圏域にある居宅サービス事業所は85事業所であるため、参加率は15%程度となっている。</p> <p>イベントにおいては講師好評であり、高次脳機能障害についての理解を深めることができている。</p> <p>また、高次脳機能障害のケースで困っている時にはかがね高次脳機能障害支援センターに相談できる事を周知出来た。</p> <p>残念な点としては参加率が低く知識を広げることができなかったことにある。</p>	<p>下半期においては、12月3日(水)9時半～11時半、かがね総合リハビリテーションセンター第1、第2研修室にて第2回目のイベントを実施する。</p> <p>第2回目のイベントは映画「空へはばたこう」を上映する。</p> <p>映画のテーマは「知的障害者が自立を実現するためにどうすれば良いのか？」となっており、イベントでは知的障害者が自立を実現するために居宅サービス事業所がどのような役割を果たせるかをテーマに視聴してもらいたいと考えている。</p> <p>また、研修形式ではなく映画上映というスタイルを取ることにより居宅サービス事業所部会の活動を広め参加者が増えることを期待している。</p> <p>次に、2月25日(水)9時半～11時半、かがね総合リハビリテーションセンター第1研修室にて第3回目のイベントを実施する。</p> <p>第3回目のイベントはサービス内容について法解釈の違いから事業所格差が発生している問題について取組み、事業所ごと格差が是正されることを目的にイベントを実施する。</p>
10	<p>部会メンバーで取り組むテーマを検討し研修や勉強会を実施していく。昨年度、取組めなかった以下のテーマについて今年度も継続して検討していく。まずは去年から検討してきた合理的配慮に関する取組みを具体的に決めていきたい。</p> <p>・合理的配慮に関する研修</p> <p>・当事者の方と学生との交流</p> <p>・防災に対する取組み</p>	<p>今年度の合理的配慮の取組みを考えるにあたって、まずは部会のメンバーが合理的配慮について学ぶことから始める。その為に講師選定や勉強会の内容を協議したい。あわせて今年度、合理的配慮の啓発活動を行うイベントを探していきたい。</p>	<p>6月に香川県障がい福祉課と高松市総合教育センターから講師を招き「合理的配慮」「サポートファイルかけし」について勉強会を実施した。サポートファイルかけしについては部会メンバーから出た意見で、どちらも基本的な事項から学べる良い機会になった。</p> <p>啓発活動については6月末に開催されたナイスハートバーンゆめタウン高松で「合理的配慮」「ヘルプマーク」についてチラシを配布する。バザー自体が盛況なこともあり、すぐにチラシを配布して終了した。</p>	<p>12月に行われる権利擁護部会主催の合理的配慮の研修時に合理的配慮の啓発活動を実施する予定。11月に部会を開催して内容を検討する。</p> <p>合理的配慮の好事例について収集する方法等を検討して実施していきたい。</p>
11	<p>B型事業所が抱えている様々な課題を一つずつ解決していくため、新築に運営を開始している事業所も含め、事業所間のネットワークづくりを引き続き重点目標として活動を行っていく。</p> <p>R6年度当初には、座談会で話し合いたい内容や研修会においてどのような講演を聞きたいかについてのアンケート調査を実施したが、座談会時や事業所見学会の開催時にも簡易なアンケートを実施しており、全体的な傾向は把握できているため、令和7年度は特に別立てアンケート調査を実施することはない。</p> <p>年間スケジュールとしては令和6年度までと変わらない形で予定しており、座談会2回（現場職員向け、管理者向け）、事業所見学会・情報交換会1回を実施するが、自立支援協議会の活動に比較的に参加している事業所と全く参加していない事業所の2層化が進んでいるため、なるべく多くの事業所にコミットしてもらうように内容をブラッシュアップしていく。</p>	<p>8月に開催予定の現場職員向けの座談会の準備のために、事務局会で打合せを行っていく。</p> <p>また、今年10月よりB型事業所の新規利用者を対象に開始される就労選択支援事業についての情報収集を行うとともに、就労支援委員会や相談支援部会などの他部会との連携を図っていく。</p>	<p>5/14(水)第1回目の事務局会を開催し、今年度実施する予定の座談会2回（現場職員向け、管理者向け）、事業所見学会・情報交換会1回に関して、実施方法等についての確認を行った。部会の重要目標である事業所間のネットワークづくりをさらに構築していくために、今年度はより親密な関係性づくりを目的として、懇親会の開催を検討することとなった。また、部会の事務局体制を再考し、新しい事業所にも参加してもらうことや、行政の方にも参加してもらうような仕組みづくりを検討した。</p> <p>7/23(水)第2回目の事務局会を開催し、8/27(水)開催予定の現場職員向けの座談会についての実施方法の検討を行った。</p> <p>8/27(水)現場職員向けの座談会を実施。参加者数はいつもより少し少ない目だったが、より親密に意見交換などが行えている雰囲気だった。高松市の農福連携事業に関する周知も農福産産課よりアウタスしてもらった。</p> <p>9/29(月)第3回目の事務局会を開催し、11月に実施予定の事業所見学会・情報交換会の開催方法の検討を行った。</p>	<p>11月に開催予定の事業所見学会・情報交換会、1月開催予定の管理者向けの座談会の準備のために、事務局会で打合せを行っていく。</p> <p>また、今年10月よりB型事業所の新規利用者を対象に開始される就労選択支援事業についての情報収集を行うとともに、就労支援委員会や相談支援部会などの他部会や、教育機関等との連携も図っていく。</p>

No.	R7年度 目標	上半期の目標	上半期の振り返り	下半期の目標
12	<p>私たちは圏域における障害者の権利擁護の意識向上を目指して、意思決定支援、虐待防止に関する研修や差別解消法に関する勉強会の開催を実施してまいります。併せて身体拘束適正化についても今後の取り組み課題の一つとして検討してまいります。また、情報収集にも努めそれ以外の課題の抽出にも取り組みを進めます。</p>	<p>定期的（月1回）に部会を開催し、権利擁護に関する地域課題の抽出及び権利擁護に関する各研修について企画、開催します。また、各部会にも声をかけ、様々な課題を扱います。研修については上半期は意思決定支援研修（基礎編）と意思決定支援研修（実践編）について実施するのと、下半期の差別解消法の勉強会についても準備を進めます。</p>	<p>○グループホームの交流を促進するため、交流会を実施する。</p> <p>○圏域内にある全てのG Hを対象として、事業所同士の交流を図り、日常的にお互いの良いところを学び合ったり、困っていることを相談し合ったりできる関係を築き、ネットワークを構築する。</p> <p>○圏域内のグループホームにおける共通の課題について、協議や研修等の学びの場とすることでグループホームを利用していらっしゃる方が、より良い地域生活に実現を見込めます。</p>	<p>月回の定期的な部会の開催を行った。様々な課題については部会内では出ないが他の部会については十分とは言えません。権利擁護研修として、7月18日（金）に意思決定支援（基礎編）を、意思決定支援（実践編）を9月22日（月）に実施しました。また、差別解消法の研修会については外部講師を招聘し12月5日に三木町にて実施することが確認され、その準備を行っています。</p> <p>○第1回は管理者・サビ哲向け、第2回は支援者向けの交流会を実施した。参加する事業者は10～15事業者ほどが参加しているが、参加したことのない事業者の方が多い。今後ともより多くの事業者所が参加するように働きかけていきたい。</p> <p>○グループホーム特有のシフト勤務などにより、職員間の情報共有、研修の機会の確保、人材確保など事業者所に共通する課題がある。</p>
13	<p>よりひろく関係者が協議会に参加してもらえようようになるように、必要に応じておこなう。</p> <p>①R8年度の協議会全体及び各部会の体制移行を控え、運営会議等で必要な協議をしながら、滞りなく移行を進める。</p> <p>②協議会の役割、現状、課題等を、簡潔に共有できる仕組みを整える。</p> <p>③成年後見人制度について、新しい制度への移行に注視し、必要な研修等を行う。</p>	<p>・全体会を開催する。会議のモチを高め、参加いただく委員からより意見が出やすいよう実施する。また、協議会の現状を委員に共有する。</p> <p>・運営会議で検討している課題について、整理する場をもつ。</p> <p>・R8年度の体制について協議を始める。</p>	<p>・5/26全体会を開催した。会場配置を検討し意見交換がしやすい配置としたこととあり、普段、運営会議に参加していない委員との意見交換も促進された。協議会の現状等をより伝えられたのではない。</p> <p>・3月以降の運営会議で準備ができた課題を集約し、打ち合わせの会を通じて運営本々で整理した。そのうえで7月の運営会議にて、それまでに準備ができた地域課題のうち、合理的配慮の啓発、教育と福祉の連携の2つについて、グループワークで課題の共有を行った。権利擁護部会、相談支援部会、こども部会等を中心に取り組みを協議している。</p> <p>・R8年度の体制について各部会に報告様式を送りし、協議を進めてもらうよう依頼した。また、部会の再編についての提案が挙がり、運営会議で議論をすすめた。</p> <p>・移動支援の在り方について、WGでの協議の成果を行政（高松市）への提言というかたちでおこなった。</p>	<p>定期的な部会の実施の継続と12月5日に開催する差別解消法の研修会の準備及び実施と令和8年3月3日（火）に実施される障害者虐待防止研修について準備及び開催します。また、各部会への投げかけを行い、権利擁護に属する課題を抽出し次回以降に取り組み内容を考えます。</p> <p>○1月に事業所見学会を開催予定であり、より多くの事業所からの参加を促し、鏡のつながりを広げていきたい。</p> <p>○順の見える関係ができた事業者間での日常的な相談や助言等ができるような密な関係が構築されるよう取り組みも併せて検討する。</p> <p>・部会の再編を含むR8年度の体制について協議を進め来年の体制を定める。</p> <p>・総務省より高松市を通じて依頼のあった、成年後見人制度の聞き取りの機会を利用して、協議会としても意見をまとめる。</p> <p>・協議会の現状と課題が簡潔に共有できる仕組みについて検討し手だてを行う。</p>

高松圏地域自立支援協議会の組織（案）



協議会に参加している事業所（サービス提供事業所）がわかるように
Ex. 行政の事業所紹介の一覧表の備考欄に「R7高松圏協議会〇〇部会部長」等を示すことは可能か

高松圏地域自立支援協議会の組織（構成メンバー）

No.	領域	機関名	No.	領域	機関名	No.	領域	機関名
1	市町行政	高松市障がい福祉課	12	サービス提供事業所	一般団法人garyu	25	教育	香川県立高松支援学校
2		三木町 福祉介護課	13		社会福祉法人ナザレの村	26		香川県立香川中部支援学校
3		直島町住民福祉課	14		一般社団法人ええる福祉会	27		香川県立香川東部支援学校
4	障害者生活支援センターたかまつ	障害者生活支援センターあい	15		自立ケアシステム香川	28		香川県立聴覚支援学校
5			16		一般社団法人hito.toco	29		香川県立視覚支援学校
6	相談支援センターりゅうらん	17	特定非営利活動法人アイルコート		30	香川大学教育学部附属特別支援学校		
7	地域生活支援センターごだま	18	香川県立川部みどり園		31	高松市総合教育センター		
8	相談支援	相談支援事業所ライサポートセンター	19		高松公共職業安定所（専門援助部門）	32		高松市医師会（かがわ総合リハビリテーション病院）
9		地域活動支援センターグイマ	20		障害者就業・生活支援センター共生	33		相談機関
		21	障害者就業・生活支援センターオーリーブ					
10	障害者地域生活支援センターほっと	22	香川県東讃保健福祉事務所					
11	高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点	23	香川県精神保健福祉センター					
		24	高松市健康づくり推進課					

上記機関以外にも各部会等に様々な機関が参画しています。